

第33回日本眼循環学会

モーニングセミナー2

日時▶2016年7月23日(土) 8:00~9:00

会場▶B会場(アクロス福岡 7F 大会議室)

OCT-Angiographyと LSFGを用いた症例報告会

座長



Akito Hirakata

平形 明人先生

杏林大学医学部眼科 主任教授

座長のことば

OCTの進歩は日進月歩ともいわれておりますが、新たな機能としてOCT-Angiographyが付加されました。OCT-Angiographyについては研究、臨床面において既に数多く報告されております。今回の共催セミナーでは、このような情報が溢れている状況を少し整理する意味で、慶野博先生(杏林大学)にはOCT-Angiographyの基本原則から臨床上的有用性、特に画像を読影するうえでのポイントや注意点、OCT-AngiographyとLSFGの各々の利点などについて実際の症例を交えながらお話しいただきます。

OCT-Angiographyでは血流に基づいて血管を描出しておりますが、眼底血流そのものの計測にLSFGを用いるなど長足の進歩がみられます。眼循環においてOCT-AngiographyとLSFGが共同して有用な情報を提供してくれるものと期待されます。この面で様々な研究をされてきた石田晋先生(北海道大学)には眼循環測定について分かりやすく、症例を交え報告していただく予定となっております。

明日からの眼科診療に役立つホットな最新情報が伺えるものと期待しております。

なお、セミナーの最後に時間があればディスカッションをおこないたいと考えております。多くの先生方のご来場をお待ちしています。

演者



Hiroshi Keino

慶野 博先生

杏林大学医学部眼科 准教授

RS-3000 Advance OCT-Angiographyの使用経験

漿液性網膜剥離と脈絡膜肥厚を呈する 各疾患の「真逆な」血流動態について

演者



Susumu Ishida

石田 晋先生

北海道大学大学院医学研究科眼科学分野 教授

